

慢性膵炎について

消化器内科

膵臓すいぞうは胃の裏側にある細長い臓器で、消化酵素や血糖を調節するインスリンなどを分泌しています。通常は消化酵素が自分の膵臓を消化しないようになっていますが、長期間の大量飲酒などにより、膵臓の中で消化酵素が活性化すると自分の膵臓を溶かすようになり慢性膵炎を発症します。初期には食後数時間して上腹部痛や背部痛が起こり、痛みはあおむけで強くなり、前かがみで軽くなります。慢性膵炎は放置すると進行し膵臓の正常な細胞が壊れて線維に置き換わってしまいます。このような時期になると腹痛は弱まりますが、消化酵素やインスリンの分泌が悪化し、消化吸収不良、糖尿病を来し、膵臓がんも合併しやすくなり寿命を縮めてしまいます。そうならないうち

岡本 博司 さん
国吉病院 消化器内科部長



にきちんと治療を受けることが大事です。治療は徹底した禁酒、脂肪食の制限、消化酵素を補う薬の服用などをを行います。